

編輯だより

○前號の本誌が、久し振りで（譯に相濟まない譯ですが）發刊せられた時、ある讀者の方は、「歸つて來たれ」といつて迎えて來さいました。「なか／＼可愛らしくなつて歸つて來たれ」といつても下さつた。

○ある讀者の方は、「可愛らしいが、可愛らし過ぎるね」といつた方もありました。「もつと頁數の多い、内容の多いものにならなければいけないね」とも附け加へられました。

○本誌は、今出來るだけの努力をして居ます。どうか、皆さんの御同情によつて、少しでもいいものにし度いと思つて居ます。形でなしに、中味を、量でなしに、質を。本誌にあらはれた、其の小さい努力の一端をおくみ下さい。

○併し、われ／＼の力だけでは到底何も出來ません。どうぞ皆さんのいる／＼の御援助を乞ひます。

讀者の方からの御寄稿を下さるることによつて。

讀者の方で新しい讀者を紹介して下さることによつて。

いる／＼の御注意が教へて下さることによつて。

御注意	廣告料	定價表		冊數	定價	郵稅
		一冊	六冊(前金)			
(外國行郵稅は一部十二錢の割にて御拂込下さい) △本誌購讀御希望の方は定價表により版費貯金で御送金下さい。(東京四六堂發行者教文書院宛) △前金切れの節は帶紙に「前金切」と致します。 △郵券送金の節は一割留で「一錢切手」に願ひます。 △本誌の一切は教文書院宛御照會下さい。	普通面一頁	金四拾五圓	同	同	同	同
	表紙裏附	金七拾圓	一頁以下御斷要	同	同	同
	表紙前付	金七拾圓	不	同	同	同
	六冊(前金)	金貳圓拾錢	不	同	同	同
	十二冊(前金)	金四圓貳拾錢	不	同	同	同
	一冊	金參拾五錢	不	同	同	同

太正十三年四月二十八日納本
 大正十三年五月一日發行第二十四卷第二號

無 斷
 轉 載

編輯者 東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會
 倉 橋 惣 三
 發行者 東京市下谷區上根岸八十八
 越 元 新 吉
 東京市小石川戸崎町七二
 沖 田 瀧 次 郎
 印刷者 教文書院印刷部
 印刷所 東京上野公園寛永寺坂下(上根岸八十八)

發行所 教文書院

電話下谷三〇四七番・一九五一番
 振替東京四六一一一番